

みどころ

① 大鳥居



大正14年建立の大鳥居
山田区民の寄付により建設。石材は海老津駅から牛車を使用しないで人力により運ばれた。

② 鳥居 (氏森神社境内)



1627年8月に山田村大庄屋 秋武五八郎により建立。この鳥居は昭和60年6月の地震で倒れ、同年10月に再建されたもの。

③ 氏森神社 (うじもりじんじや)



創建年代は不詳。山田の周辺は縄文・弥生遺跡が多く存在しており、早くから集落が形成され鎮守の神が祀られていたと考えられる。現在の神殿は1896年5月1日に再建されたもの。現在の例大祭(おくんち)は4月9日・10日に行なわれている。

氏森神社のお守り札
安産の守り札として「安産守護」のお守り札と「白糸」が一緒に授けられている。

④ 寶樹院 (ほうじゅいん)



清石山寶樹院弘増寺といひ開山以来浄土系の寺である。開山の僧は弘阿誓源大和尚(1261年入寂(浄土系の第二祖金真西聖光上人の直弟子)その後中絶していたものを行永妙泉比丘尼という高徳な禪尼により再興された。1511年入寂。禪尼の死後荒廃していたため、筑後の専修寺開山念養上人行明和尚を招請して再興を依頼。遂に再興を果して中興開山の号を付与された。

③ 氏守八幡宮 (氏森神社境内)



福岡藩家老であった「奈木里田家」の初代・里田一成が1603年に建立した。この神殿は山崩れによってお宮が倒壊した時に1804年再建された。神殿と氏森神社社殿の裏手に移転されて現存している。大正12年に氏森神社に合祀されている。

③ 安産腰掛石 (氏森神社境内)



安産腰掛石は本来氏守八幡宮にあったものではないかと思われるが詳細は不明である。この石に腰掛けると安産になると言われている。

⑤ 地藏堂



寶樹院の境内にあり、本尊仏として左足を前に垂らす座像の地藏尊で、「足垂地藏尊」と言われている。願いを込めておすかりすれば、一度は必ず「お慈悲にあずかると言われている。この地藏尊は寶樹院を再興した妙泉比丘尼の守護本尊仏ではないかと言われている。